

昭和20年代における愛知県古墳時代遺跡
分布調査（三河編Ⅲ）

伊 奈 森 太 郎 筆
松 村 冬 樹 編輯・補遺

蒲郡市（旧宝飯郡蒲郡町，同大塚村，同塩津村）

いほ 疣神塚古墳（2017；いほ神古墳）

蒲郡町大字五井字東郷（五井町字東郷）

①円 ⑦石槨あり。

（参）石川松衛編『蒲郡町誌』（1929；'73複製）197。蒲郡市誌編纂委員会『蒲郡市誌』（1974）90～91。いほ神とある。

火の穴古墳（2018～23；山田1号～6号）

蒲郡町大字五井字山田（五井町字山田）

①円 ②玄室，長2.4，巾1.8。

（参）『蒲郡市誌』106，113～4表。

赤日子古墳（5904～06；神郷1号～3号墳？）

蒲郡町大字神の郷字兼京（神ノ郷町）

①円 ⑦赤日子様のお塚といわれる。

（参）『蒲郡市誌』197頁に「一ノ塚、神ノ郷字兼京」とある。『蒲郡市誌』107～12。

田上古墳群 1号～3号墳＋無名墳（1998～2000；田ノ神1号～3号墳）

大塚村大字大塚（大塚町百田）

I ①円 ⑦石室長3.7米。北へ5・6間隔てて第2，第3号墳あり。

II・III ①円。

（無名墳）①前方後円 ⑦埴輪あり。

（補）大塚町東大塚にある5919～21；松波軒山1号～3号墳の可能性もあるが，田上古墳——田ノ神古墳という名称から1998～2000の方と比定した。無名墳は前方後円墳と記されているが，この地にはない。但し，「大字大塚」という地名が重複して記されていることから，小字が異り，500m程東南の2001；笹子古墳，大塚町字笹子の可能性もある。しかし，これは台帳には円墳と記されている。亡失した可能性もある。

（参）『蒲郡市誌』101。田ノ神古墳とあり。

西川古墳 (2004)

大塚村 (相楽町字西川)

①円 ⑦石槨あり。金環、土器出土。

(参) 『蒲郡市誌』103。

火穴古墳群 (2139~40; 西郷1号~2号墳, 2142~45; 柏原1号~4号墳)

塩津村大字柏原 遠峰根山麓一帯 (柏原町字四ッ塚)

①円 ②大抵径5.0, 高1.8。

(参) 『蒲郡市誌』108。

宝飯郡 (旧御津村, 旧一宮村, 旧八名郡金沢村)

松ノ下古墳 (1666; 茂松(穴観音)古墳)

御津村大字豊沢字松の下 (御津町大字豊沢字松の下)

①円 ②玄室, 長8.2, 高2.1 ⑦玄室は2室となる。

船山古墳 (1670; 船塚山古墳)

御津村大字広石字船山 (御津町大字広石字船山)

①前方後円。

足山田古墳 (2259; 薬師塚古墳?)

一宮村大字足山田 (一宮町大字足山田)

①円 ②27, 高3.0 ③鉄鍬。

(補) 字名が記述されていないので, 約50基ある足山田所在の古墳のいずれかは判断できない。出土遺物から推測すれば, この薬師塚ということになろうが, 確かではない。

(参) 一宮町誌編纂委員会『一宮町誌』(1976) 224~32。

日吉古墳

一宮村大字大木字日吉

①円 ③埴輪, 土偶, 直刀。

(補) 『県報』十七(1939) 17頁に, 一宮村山ノ奥古墳の現状として, 『日吉原』に存在するとある。また遺物として刀が出土していることから同一のものと考えられよう。『県報』に書かれている念仏塚(前方後円)の北方にある円墳としては, 2262; 念仏塚3号墳, 大木山ノ奥27の525, 6028; 念仏塚6号墳, 大木山ノ奥があるが, 後者である可能性が高い。

二子塚古墳 (6005~06; 二子塚1号~2号墳)

八名郡金沢村字二子塚 (一宮町金沢二子塚)

①円 ⑦左右2個接近して存在。

(参) 八名郡役所『八名郡誌』(1926) 212。『一宮町誌』236。

大塚古墳 (5984)

八名郡金沢村字大塚 (一宮町金沢大塚10の1)

①円 ②径29, 高2.7 ③直刀, 玉類等。

(参) 『八名郡誌』 212。『一宮町誌』 233。

幡豆郡一色町佐久島 (旧佐久島村)

青蓮院塚古墳 (399; エベス塚古墳?)

字波ヶ崎 (字波ヶ崎49?)

①方 ⑦大岩を蓋にしてある。

(補) 『県報』 十一 (1933) 36~37頁の, エベス塚古墳の記述によれば, 「墳丘は不整形」とある。多分この古墳はエベス塚のことであろう。

(参) 幡豆郡一色町『佐久島の古墳』 (1967) 4。

天神古墳 キントノ穴 (360; 掛梨3号墳?)

字天神 (字掛梨17の1?)

①円 ②径7.3, 高3.0 ⑦石室あり。長さ4.8, 巾1.5, 高1.8。

(補) 『県報』 十一 38頁に, 「天神塚; 掛梨17の1」という古墳についての記述がある。従って掛梨3号墳と比定した。字名が異なるのは, 正式な字名と, 俗に一般的に呼び慣わされている地名の相異ではなかろうか。他の古墳の所在地名についても同様と考えられる。なおキントノ穴とは, 佐久島で横穴の開口した古墳を総称するものであるという。

小新谷1号・2号墳

字小新谷 (字新谷)

I ①円 ②径5.0, 高3.3 ⑦石室あり。長さ2.1, 巾1.2, 高1.2。

II ①円 ②径7.0, 高6.1 ⑦石室, 長4.8, 巾2.1, 高1.0。

大新谷1号・2号墳

字大新谷 (字新谷)

I ①円 ②径7.0, 高6.1 ⑦石室, 長6.4, 巾1.7, 高1.2。

II ①円 ②径7.0, 高6.1 ⑦石室, 長6.4, 巾2.1, 高1.7。

(補) 墳丘, 石室の大きさに誤りがありそうである。上記の小新谷, 大新谷古墳に該当するものをさがせば, 366~69; 新谷1号~4号墳, 4334; 同5号墳, 370~74; 平古1号~5号墳, 375; 同7号墳, 4333; 同6号墳等があげられよう。(参) 『佐久島の古墳』 8~9。

タケガサキ古墳

字タケガサキ

①円 ②径11, 高2.4 ⑦石室, 長3.9, 巾1.6, 高1.3。

小山古墳 (401; 外浦古墳?)

外浦 (字外浦8?)

①円 ②50, 高3 ⑦石室, 長5.8, 巾1.6, 高1.6。

(補) 『県報』 十一 37頁によれば, 外浦の地に存在するのはこの外浦古墳しかない。

(参) 『佐久島の古墳』 4。

キントノ穴

西方一町ノ所

①カマド形 ⑦石室, 入口縦横1.4。

新城市 (旧南設楽郡東郷村, 同千郷村, 旧八名郡八名村)

常康古墳

東郷村大字出沢字西沢 畑 (大字名以下は現在も同じ。他も同様)

①円, 半壊 ③甕, 土器 ⑤関原家 ⑦石槨の一部残。

(補) 南設楽郡東郷村『東郷村沿革誌』(1951) 2頁の表に記述あり。現在該当するものなし。滅失かも。

吉多方古墳 (1046; 有海古墳)

東郷村大字有海字住吉 畑

①全壊 ③刀剣類 ⑤新昌寺 ⑦昭和初年発掘。

(参) 夏目邦次郎『大昔の新城』(1957) 87。新城市誌編纂委員会『新城市誌』(1963) 40。

萩平古墳 (1041; 萩平2号墳)

東郷村大字川路字萩平 山林

①円, 石室開口 ②高1.5, 幅9.0, 長11.5 (石室) ③土器, 刀剣, 鏃 ⑤東郷中学校
⑦石槨あり。

(参) 『大昔の新城』 88~89。『新城市誌』 39~40。

諏訪神社1号・2号古墳

東郷村大字八東穂^{やぶほ}字宮下 山林

I ①円 ②高2.8, 幅15.2, 長25.5 ⑦石槨無。お宮境内修理の際小鉢1個発見。

II ①円 ②高1.0, 幅1.5, 長1.5 ⑦石槨無。

(補) 『東郷村沿革誌』 2頁の表に記述はあるものの, 現存しない。

名高田1号・2号墳 (1057; 須長7号墳I / 1058; 須長8号墳II)

東郷村大字須長字山崎 山林

①円I / 円, 横穴開口II ②高0.7, 巾7.1, 長8.8 I ⑦石槨無。

(参) 『大昔の新城』 86。

亀井戸古墳 (1055; 須長5号墳)

東郷村大字須長字亀井戸 山林

①円 ②高0.9, 幅12.9, 長13.7 ⑦石槨無。

(参) 『新城市誌』 85。

道久保1号~3号墳 (1051; 須長2号?)

東郷村大字須長字道久保 畑

I ①円, 半壊 ⑦石槨一部残。

II・III ①全壊 ⑦石槨残。同地豊田貞次郎氏宅の石垣となる。

(補) II・IIIは1051; 須長1号墳, 1053~54; 須長3号・4号墳のいずれかに該当しよう。

(参) 南設楽郡教育会『南設楽郡誌』(1926; 1972複製) 479頁の表に記述有。『大昔の新城』84~85。『新城市誌』41。

天王古墳 (1060; 須長10号墳?)

東郷村大字須長字天王 山林

①円

(補) 1059; 須長9号墳, 字天王27も該当する可能性があるが滅失。10号墳は現存? ゆえに, 可能性が高い。(参) 『大昔の新城』90表。

石塚古墳

東郷村大字竹広字石塚 屋敷

①円 ⑦石槨無。

(補) 字石塚という地名は三河東郷駅の西方で, 設楽原決戦場の南端に存在するが, 同地に古墳は存在せず。滅失か?

断上古墳群 1号~8号墳

東郷村大字竹広字断上I / 大字大宮字宮川II / 字南貝津III・IV / 字清水V / 字狐塚VI~VIII
I 槽塚古墳 (1069; 断上8号墳) ①円 ②高2.8, 幅19, 長19 ⑦石槨無。壕らしきものあり。保存の要あり。(参) 『大昔の新城』89表。

II 物見塚古墳 (1070; 断上9号墳) ②高3.9, 幅24, 長24 ⑦石槨有。壕らしきものあり。保存の要あり。(参) 『大昔の新城』81~82。『新城市誌』41~42。愛知県教育委員会『重要遺跡指定促進調査報告』(1974) 11, 31。

III (1068; 断上7号墳) ①円 ②高1.2, 幅16.5, 長15 ⑦石槨無。

IV ①全壊 ⑦石槨有。(参) III・IV 『大昔の新城』90表。

V 清水古墳 ①円 ②高2.5, 幅15.5, 長21 ⑦石槨有。前方後円らしきものである。

(補) 『大昔の新城』83頁に記述あり。滅失か?

VI ①円 ②高1.6, 幅8, 長8 ⑦石槨無。

VII ①円 ②高2.0, 幅10, 長14 ⑦同上。

VIII ①円 ②高1.3, 幅12, 長12 ⑦同上(補) VI~VIII, 1062~66, 断上1号~5号墳のいずれかが該当しよう。『大昔の新城』81~82頁及び90頁の表に, 字狐塚13-3, 同21, 同3-9の3基が記述されている。この3基がこの原稿のVI~VIIIと同じものとすれば, 1063~65; 断上2号~4号墳のいずれかと考えられよう。(参) 『新城市誌』41~42。

常延古墳

東郷村大字大宮字森長 山林

①円 ②高1.7, 幅6.0, 長7.0 ⑦石槨無。

(参) 当地に俗称常延^{つねのべ}という地名(正式な字名ではない)があるというが、古墳は存在せず。

茶臼山古墳群 1号～3号墳 (1072～74; 茶臼山1号～3号墳)

東郷村大字牛倉字城山 山林

I ①円, 横穴開口 ②高2.4, 幅11.2, 長9.8 ⑦石槨の残部有。

II ①円 ②高0.8, 幅7.0, 長7.0 ⑦石槨あり。

III ①全壊 ⑦石槨残部あり。

(参) 『南設楽郡誌』479表。『大昔の新城』86～87, 90～91表。『新城市誌』42。

市神塚古墳

東郷村大字富永字富高利 畑

①円 ②高1.0, 幅7.0, 長7.0 ⑦石槨有。

(補) 『東郷村沿革誌』2頁の表に富永安楽寺に古墳ありと記されている。また市神跡^{いちがみ}という定期市址がその地に存在するという。なんらかの関係があるのではないか。

八幡古墳 (滅失)

東郷村大字矢部字川ノ上 山林 (字上ノ川^{うへのがわ})

①全壊 ⑦石槨の残あり。

(補) 『新城市誌』43頁に, 「八幡神社社殿下に1基あり。亡失」の記されているものであろう。

本並1号・2号墳 (1100～01; 矢部1号・2号墳)

東郷村大字矢部字本並 畑

①全壊。

(参) 『大昔の新城』87～88。

西浦古墳

東郷村大字平井字西浦 墓地

①円 ②高1.8, 幅6.2, 長6.4 ⑦大中小の塚接続す。

道塚山古墳

千郷村大字杉山字行時 畑

①円 ②径10, 高2.0 ⑦現存1, 外, 古墳様のもの3。

(補) 1118～20; 堂塚1号～3号墳に相当しよう。(参) 『南設楽郡誌』479表。『大昔の新城』91～92。『新城市誌』52表。

神明古墳 (1114; 神ノ前古墳?)

千郷村大字徳定字神明 (字神ノ前613-2?)

①円。

(補) 『大昔の新城』92～93頁に, 昭和25年に最後の1基を発掘と記されている。『南設楽郡誌』479表。『新城市誌』52表。

水口古墳

千郷村大字徳定字水口

①円

(補) 『南設楽郡誌』480頁の表に記述あり。字名に水ノ口みそのくちと言うところがあり、1116; 矢ノ入古墳、字溝東471-2という可能性もある。矢ノ入古墳については、『大昔の新城』94頁、『新城市誌』43頁等参照のこと。

亀ノ甲古墳 (1117)

千郷村大字徳定字亀ノ甲

①円。

(参) 『南設楽郡誌』480表。『大昔の新城』93。『新城市誌』52表。

本宮道火塚古墳群 (1135~68; 川田原1号~34号墳)

千郷村大字川田字本宮道

①円 ②径10, 高2.0, 其の他大同小異 ③高坏, 杯 ④千郷小学校 ⑦本宮道一帯に約353,400平方米(36町步), 内198,000平方米地区内に古墳あり。現存36個。発掘されしもの多し。沢一郎左エ門, 石槨1個を名古屋市へ移動す。

(参) 『南設楽郡誌』480表。『大昔の新城』95~98。『新城市誌』43~44。

小便塚古墳 (1296; 勝変塚古墳)

八名村大字一ひとくわた鍬田

①円 ⑥人類学雑誌明治34年, 三河の古墳 ⑦20余の横穴式古墳ありしが, 破壊せられたるもの多し。

(参) 八名郡役所『八名郡誌』(1926) 209。『大昔の新城』106。『新城市誌』46。

(無名墳) (1175; 摩訶戸まかこ1号墳?)

八名村大字一ひとくわた鍬田 摩訶戸神社裏。

①円 ⑦石槨あり。

(参) 『八名郡誌』209~12。『大昔の新城』103~5。『新城市誌』44。

茶臼山古墳

八名村八名井字段林

①円 ②径9.0 ⑦八名井から照山に至る吉祥山麓には数10個の大墳あり。

(補) 1236~68; 旗頭山尾根1号~33号及び, 6012~13; 同37号・38号墳等に該当しよう。この尾根の頂上(168m)を茶臼山と呼び頂上にも数基存在するという。(参) 『八名郡誌』212。『大昔の新城』110~111。『新城市誌』44。

北設楽郡 (旧名倉村, 旧下川村, 旧本郷町) 旧名倉村関係の原稿は, やはり伊奈氏の筆による『三州名倉』の内容とほぼ同様である。が, この原稿が同書の原典になるものなのであえて掲載する。なお『三州名倉』に記述のない部分に関しては

()で示す。また大きさは、『三州名倉』では尺間で示されているが、原稿はそのままメートルに換算しているので概数に改めて示す。

丸根古墳 (773)

名倉村大平 (設楽町大字西納庫字丸根3)

①円 ②径11, 高2.1 ③金環, 勾玉, 刀子片, 鉄鎖, 須恵器。⑤〔勾玉→後藤淑, 金環・鉄鎖・須恵→沢田久夫〕 ⑥昭和19年愛知県史蹟, 〔三州名倉〕 ⑦一部発掘。昭和19年修理。〔横穴式石槨〕。

(参) 『県報』十七 (1939) 20。北設楽郡名倉村『三州名倉』(1951) 37~38。北設楽郡史編纂委員会『北設楽郡史, 原始-中世』(1968) 220~1。(東納庫とある。)

オトシ古墳 (772)

名倉村大平 (設楽町大字西納庫オトシ山)

①〔全壊〕 ②径9.1, 高1.5 ③直刀, 須恵器 ⑤〔須恵→沢田久夫〕 ⑥〔三州名倉〕 ⑦〔竪穴式石槨〕, 明治〔40〕年発掘。跡方なし。〔2個並びありしという〕。

(参) 『三州名倉』37頁に「明治43年発掘」とあり。(参) 『県報』十七 20。『三州名倉』36。『北設楽郡史』220。(東納庫とあり。)

城山古墳 (774)

名倉村大平 (設楽町大字東納庫字寺狭間1)

①円 ②径9.1, 高1.8 ③無 ⑦未発掘。〔石室不詳〕。

(補) 『三州名倉』37頁には城山古墳とあるが、『北設楽郡史』223頁には寺山古墳とかがれている。

長沢古墳 (776)

名倉村松本 (設楽町大字東納庫字長沢18)

①円 ②径9.1, 高1.5 ③須恵器破片 ⑤〔須恵→沢田久夫〕 ⑦発掘を試みし如きも大体の形状存す。

(参) 『県報』十七 21。『三州名倉』37。『北設楽郡誌』223。

仙人塚古墳 (779)

名倉村^{みこやげ}神子谷下 (設楽町大字東納庫字腰越29)

①円 ②径11, 高1.8 ③無 ⑦発掘を試みし如きも大体の形状残す。

(補) 『北設楽郡史』224頁には千人塚とあり、『三州名倉』37頁では仙人塚とある。

^{めしもり}飯盛塚古墳 (775; ^{めしもり}百盛塚古墳)

名倉村松本 (設楽町大字東納庫字長トロ1)

①円 ②径13, 高2.1 ③須恵器破片 ⑤〔沢田久夫〕 ⑦発掘を試みし如きも大体の形状存す。

(補) 『遺跡台帳』には^{めしもり}百盛塚とあるが飯の誤りであろう。『県報』十七 20~21頁の記述, 『三州名倉』37頁の表も^{めしもり}飯盛塚とある。『北設楽郡史』222~3頁には^{めしもり}召守古墳と記述

されている。

松根古墳 (777)

名倉村市之瀬 (設楽町大字東納庫字松根 8-2)

①円 ②径11, 高1.8 ③無 ⑦未発掘。山伏入定の伝説あり。

(参) 『県報』十七 22頁。『三州名倉』37。『北設楽郡史』223~4。

峯古墳 (778; 法眼塚古墳)

名倉村万場 (設楽町大字東納庫字峯)

①全壊 ②径9.1, 高1.5 ③金環〔土地所有者の墓地に埋む〕, 須恵器破片 ⑤須恵→沢田久夫 ⑦石室ありしと思わるるも形式不詳。昭和元年頃崖崩れにて壊滅す。〔山伏入定伝説あり〕。

(参) 『三州名倉』37。『北設楽郡史』224。

寺本古墳 (781)

名倉村猪沢 (設楽町大字東納庫字寺本 2)

①円, 半壊 ②径13, 高1.8 ③無 ⑦発掘せし如きも大体の形状残す。

(参) 『県報』十七 21。『三州名倉』37。『北設楽郡史』224。

内野山古墳 (780)

名倉村猪沢 (設楽町大字東納庫字内野山)

①円 ②径11, 高1.5 ③無 ⑦発掘せし如きも大体の形状残す。

(参) 『三州名倉』38。『北設楽郡史』224。

上の山古墳 (782)

名倉村大桑 (設楽町大字東納庫字上ノ山 7-2)

①円 ②径9.0, 高1.5 ③須恵器破片 ⑤〔沢田久夫〕 ⑦既発掘なれども大体の形状残す。

(参) 『県報』十七 21。『三州名倉』38。『北設楽郡史』224。

トチダ古墳 (783; 左兵衛塚古墳?)

名倉村久柄^{くどち} (設楽町大字東納庫字トチダ23)

①円 ②径7.3, 高1.5 ③無 ⑦未発掘。

(参) 『三州名倉』38。『北設楽郡史』225~6。

和手貝津古墳^{わてかいづ} (771)

名倉村貝津田 (設楽町大字西納庫字和手貝津 4-1)

①円 ②径18, 高3.0 ③土玉 ⑤〔山本一二郎〕 ⑥未発掘。

(参) 『県報』十七 21。『三州名倉』38。『北設楽郡史』226。

鳥羽根古墳^{といがほね} (770)

名倉村貝津田 (設楽町大字西納庫字鳥羽根16-2・3)

②径14.5, 高2.7 ③無 ⑦未発掘。

(参) 『県報』十七 21～22。『三州名倉』38。『北設楽郡史』226。

和手貝津古墳 (857)

下川村大字下田字和手貝津 (東栄町大字下田字和手貝津59-3)

①円, 全壊 ②不明 ⑦石槨の一部現存。

(参) 『県報』十 (1932) 55。『北設楽郡史』230～1。

高根山古墳 (5246; 高根古墳)

下川村大字下田字峰山 (東栄町大字下田字峰山6-2)

①円, 半壊 ②径9.1, 高1.0

(参) 『県報』十 55。「下田和手貝津古墳」の文末に当墳の記述あり。『北設楽郡史』231。

大森古墳 (840～41; 大森1号～2号墳)

本郷町大字本郷字大森 諏訪南宮神宮境内 (東栄町大字本郷字大森1)

①円 ②径20, 高3.0 ⑦2個存在。外に大正11年, 本郷小学校地拡張の際, 2個石槨あるもの破壊。

(参) 『県報』十 54～55。『北設楽郡史』228～30。(補) 南北2基存在。南をヒヅカ, 北をカネヅカを称す。